

「得点」からモンテディオ山形を分析する

動機

私自身応援しているモンテディオ山形は、2017シーズン11/22位、得点数は17/22位。

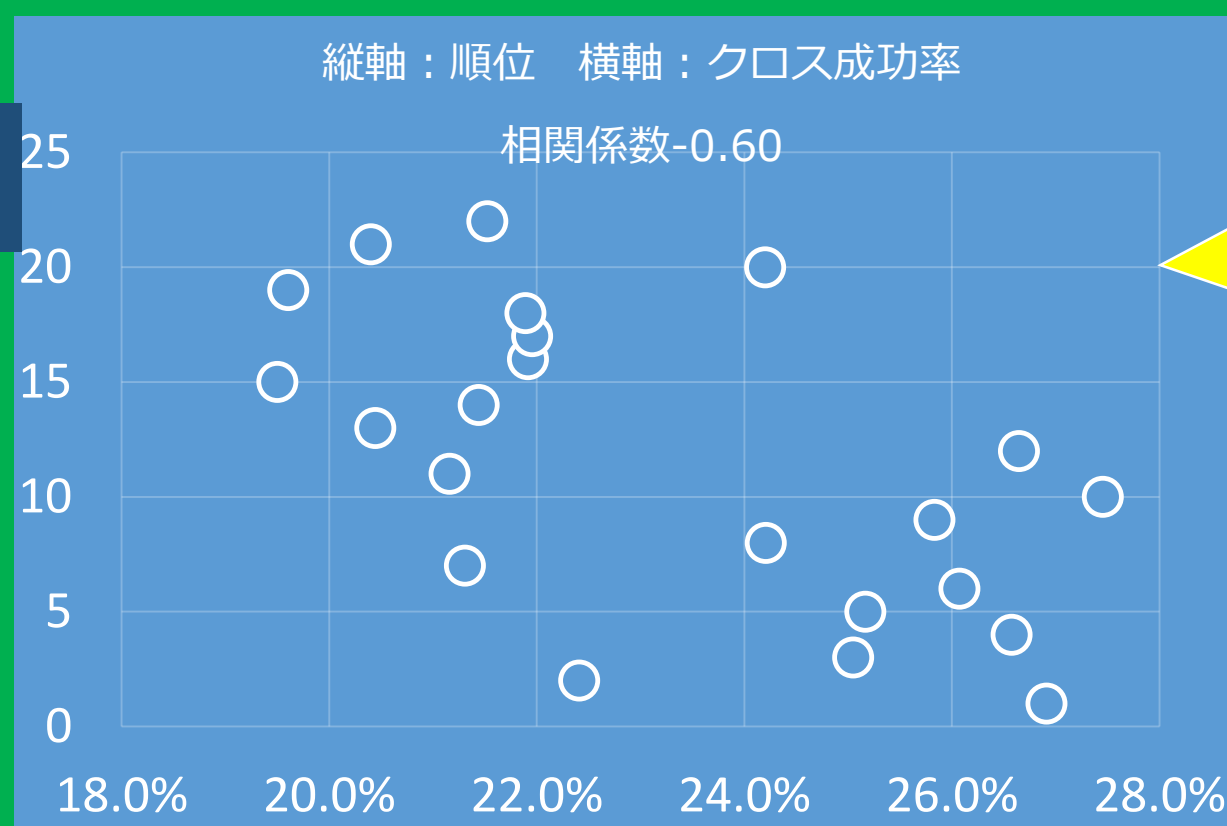
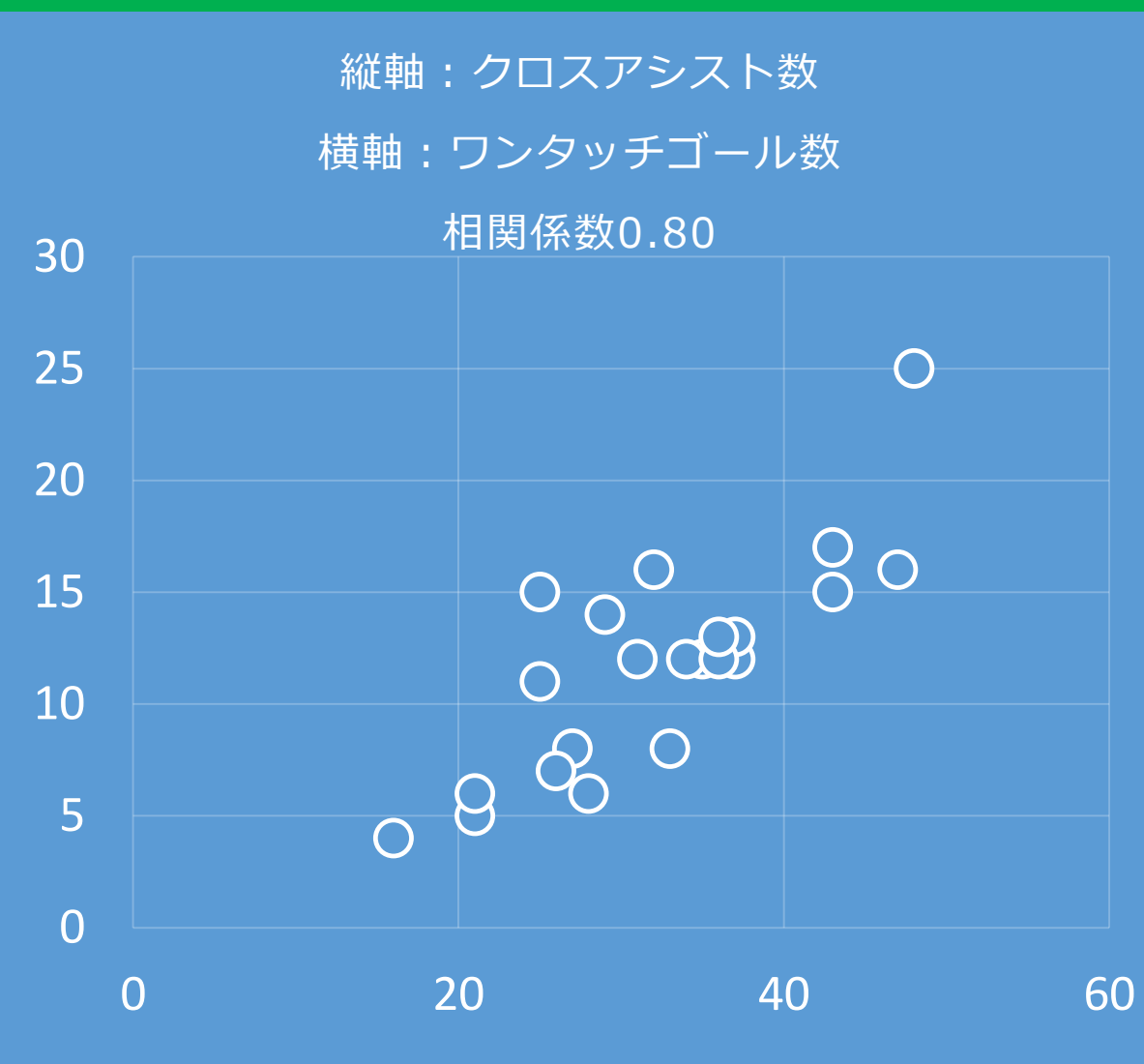
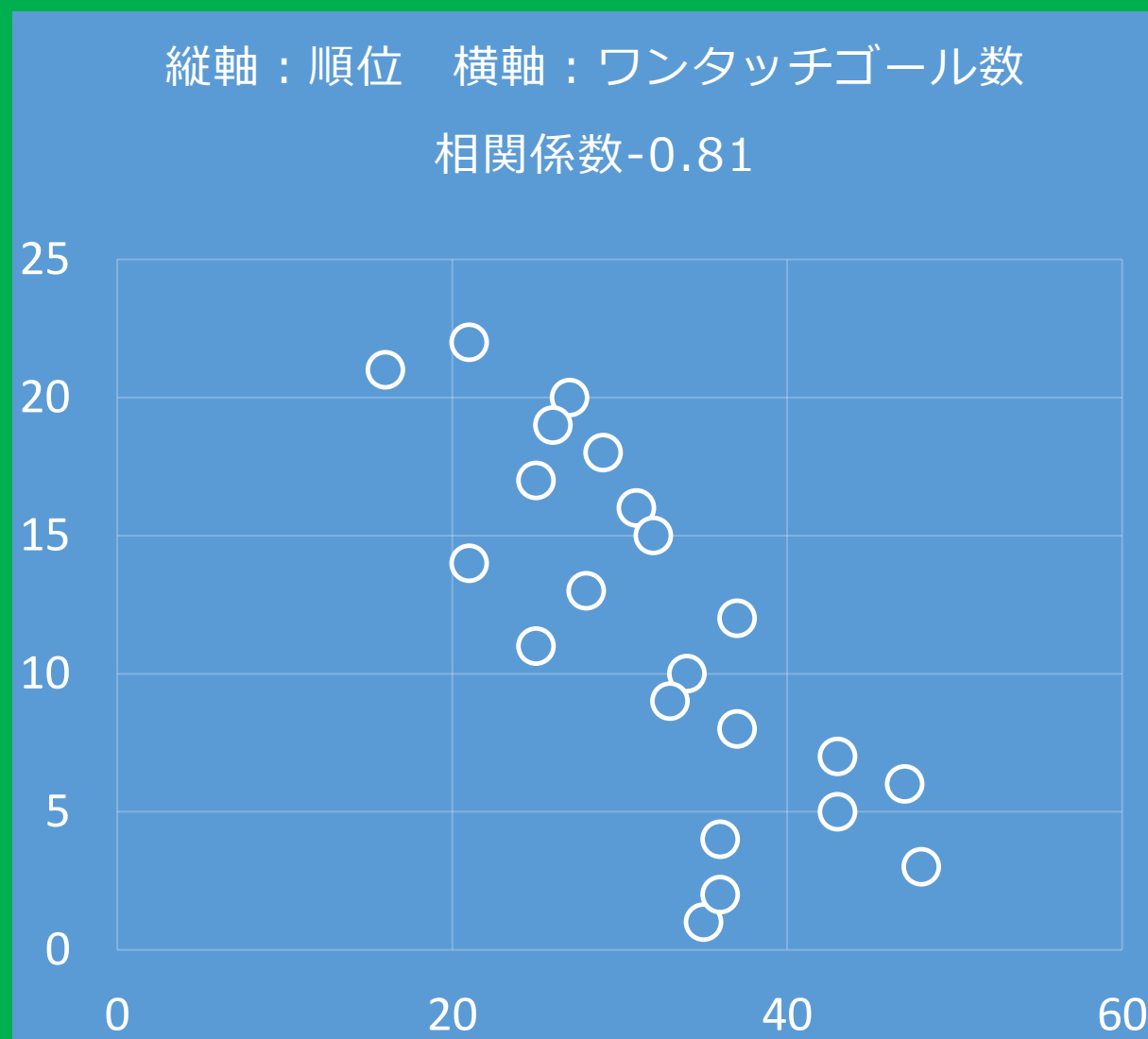
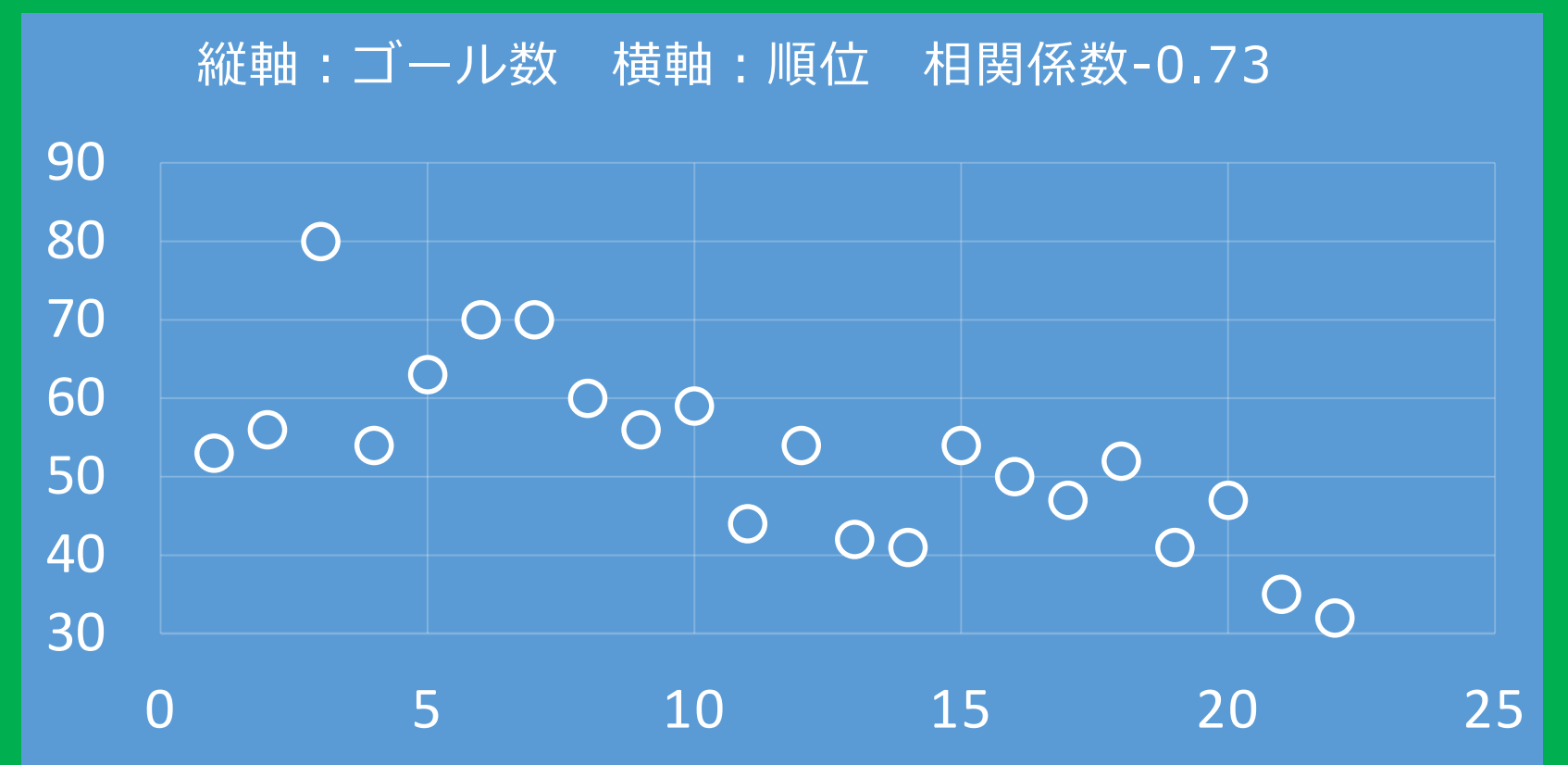


「得点」の観点から低迷の理由を分析

【手法1】ゴールパターンの分析

まずリーグ順位との相関が強いゴールパターンを探った。すると、ワンタッチゴール数と順位の相関が極めて大きいことが分かった。

ワンタッチゴール数とクロスアシスト数の相関も極めて大きいことから、クロスと関係があるのでは？とみなした。実際に、クロス成功率と順位では、グラフより相関係数以上に開きがあった。リーグ首位の湘南のクロス成功率は26%なのに対し、山形のクロス成功率は21%。大きな開きが見られた。



上位層と下位層ではっきりとした差がみられる!!!

【手法2】ラストパスの分析

続いてラストパス数の項目の観点から、順位との相関が大きいものを探った。すると、CKラストパス数と順位の相関が大きいことを発見した。CK成功率(パス総計)において山形は40%を下回る一方、湘南は50%を上回る結果に。セットプレーの戦術、優秀なキッカーの存在が大きかったのではないか。

結果

- ・クロス成功率、CK成功率に顕著に差が見られた
- ・この2つは、この2017シーズン順位決定の上で非常に重要な要素となっていた

考察

- ・優秀なCKキッカーやクロッサーがいて、かつCK・クロス

謝辞

このような機会を提供していただいた統計数理研究所の皆様に厚く御礼申し上げます。

